



平成 28 年 1 1 月 2 8 日

附属高等学校 橋本三嗣教諭が

「第 65 回読売教育賞最優秀賞」を受賞しました

広島大学附属高等学校 橋本三嗣（はしもと みつぐ）教諭が「第 65 回読売教育賞 算数・数学教育部門最優秀賞」を受賞しました。

「読売教育賞」は、教育現場で意欲的な研究や創意あふれる指導を行い、すぐれた業績をあげている教育者や教育団体を広く全国から選び、その功績を顕彰することにより、現場で指導する人々の励みとし、多様で創造性に富む教育環境づくりを進めることを目的としています。

本賞は全国の学校や地域での優れた教育実践を顕彰するもので、12 部門 160 件の応募の中から最優秀賞 8 件の一つに選ばれました。このことは平成 28 年 11 月 2 日読売新聞全国版にて発表され、11 月 11 日に読売新聞東京本社にて表彰式が行われました。

橋本教諭の受賞は、「生徒の活動を重視した数学 I 『データの分析』の授業実践」によるものです。高等学校の教育現場において実践例の少なかった数学科の統計内容を積極的に扱った授業開発を行い、身近で実践的な問題解決場面を想定して統計的なアプローチを生徒の活動を中心にすすめる授業を構想しました。高校生が生活実態に関するアンケートで収集したデータから相関関係を見つけ、判断する課題に取り組み、統計的な考え方を身につける授業を実践し、生徒の反応をもとに教材と指導方法の両面から検討しました。収集したデータを数値や図から適切に判断することの重要性を認識させる授業となっており、統計的な問題解決を目指した数学科授業づくりの優れた実践として評価されました。

【お問い合わせ先】

広島大学附属高等学校
副校長室
TEL:082-251-0192
FAX:082-252-0725